



写真出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」

「自分の詩に曲をつけ演奏したい…」と、賢治は30才の時チェロを買いました。

しかしいつまでたっても「ベーベーブー、ぎんぎん」としか聞こえなかったそうです。

『セロ弾きのゴーシュ』は、主人公のゴーシュが、猫・カッコウ・子狸・野ねずみたちとの夜ごとの交流で、わずか10日で見事な弾き手に成長するお話。

37才で急逝した賢治は、自分の果たせなかった夢をこの物語に託したのに違いありません。

力強くも優美なチェリスト・横山二葉さんと一緒に創り上げる、私たちの『セロ弾きのゴーシュ』を聴きにきてください。

ナレーション演習 朗読会2025 宮沢賢治作

セロ弾きのゴーシュ



出演 2025年度秋季ナレーション演習履修生

場所 東京国際大学川越第一キャンパス 大講堂

12/8 月

13時15分開場 13時45分開演

朗読作品

宮沢賢治 「セロ弾きのゴーシュ」

詩の数々(まどみちお、谷川俊太郎他)

チェロソロ演奏

パブロ・カザルス 「鳥の歌」

Guest チェリスト 横山 二葉

東京音楽大学付属高校、東京音楽大学卒業。ハンガリー国立リスト音楽院修了。東京音大在学中に特待生奨学金を受ける。様々なジャンルで活躍中。

2015年～2017年、東京・市ヶ谷ルーテルホールでリサイタルを催す。2018年7月、東京オペラシティ・近江楽堂にて無伴奏チェロリサイタル。2019年8月東京・musicasaでピアニスト佐藤展子氏とリサイタル。2023年3月～リサイタルを再開。2019年、2023年、2024年8月アフィニス夏の音楽祭参加。春日部市主催「平和コンサート」を企画している。

